## 第1回ふくつSDGs賞申請者一覧(講評掲載) 【一般部門】

[-	般部門	1					
No.		応募租 個人 🖽		年 活動頻度	活動概要	高く評価できる点	現在の取組にプラスして欲しい点
1 1					3 翁の史実伝承、筑前竹槍一揆の犠牲者追悼。17で唐津街	継続的かつ、自立的運営でまちづくりの実践が行われており、福津の文化を育むとても貴重な活動であると感じ ました。	新しい枠組みの導入、活動の対象範囲を広げるなど、未来のビジョンを膨らませて夢を描けるとより良いです ね。
						活動を支える運営側の人員や、支える協賛・寄付が多様である。	コミュニケーションのデザイン。名付け、育成、オベレーション、発信方法、などデザインが入るともっと多く の支持を得られそう。
	唐津街道 畦町宿保 存会		〇 平成242	2~3回程間		単なるまちづくりに留まることなく、多方面から地域の活性化の取組がみられます。ホールシティアプローチへ のきっかけづくりになります。	ぜひ、他地域へ働きかけ、このモデルを広げていただきたいと思います。
	172x					駐町を舞台に、文化の継承から、物産販売や「駐町宿祭り」など、ローカルなまちおこしを体現されてきたこと は高、評価できる。	福津市の観光を山手まで拡大する取組として、行政だけでなく様々な主体と連携し、畦町を知ってもらう活動を 拡大して、成果を出していかれることを期待します。
						活動開始(平成24年)以降、様々な工夫が重ねられ、地域の活性化に貢献している。	例えば、保存会と市民とで清掃活動を行うなど環境面をもう少し取り入れるとさらに良い。
					現在の世界の環境問題のすべてを解決できるといわれて いるモリンガを栽培しています。	個人の活動をSDGsにつなげて取り組んでいらっしゃる意識がとても良いと思いました。	スケール展開への具体的な計画があるとより良い取組に展開するかもしれません。
						モリンガという植物に着目したのは素晴らしく、ハウスで枯れないようにしている。	「巻き込む力」。1人では広め、共感を得ていくことに限界があるので、どれだけ多様な他者を巻き込めるかが カギ。
2 4	花田 昌	0	平成302	年7回程度		モリンガに着目したオリジナリティが評価できます。	-
						栄養価や薬用効果の高いモリンガに着目し、既存のハウスを活用した点はユニークであり、評価できると思います。	モリンガの魅力をより多くの人に知ってもらい、一緒に栽培を行う仲間づくりが広がることを期待しています。
						個人での活動であるが、ビジョンが明確で今後の活動に期待できる。	持続可能性のある活動を行うために組織運営にすると良い。
					1、住み良い、住み続けられるまちをめざして古くから 在注の人、他のまちから移り住んだと、市外からの訪問 表に、たっぱいます。こいで、、意見を徴収及どその情 般と開き動 を、海の豊かさを守る福津市の海の現状調査活動と改善 その広報活動。	研究とその成果を軸に、堅実な活動をされている点がとても良い取組だと感じました。地元ならではの研究成果 を元にした漁業関係者や子どもたちへの教育など、市民への教育的効果が期待できます。	ウェブサイトは若者の視点を取り入れ、誰もが見やすくわかりやすいコンテンツになるよう整理するとより多く の方が参加したくなるかと思いました。
3						自然からのリスクに向けた全住民を対象にした防災視点の取組が素晴らしい。	トップダウン、ボトムアップだけでなく「空気づくり」、ムーブメント化で多くの市民を巻き込んでいってほしい。
	福津市まちづく		〇 平成302	毎月2回程度		新旧住民の共生など斬新で意欲的な取組がみられ、福津市をよりよくしようという積極的な姿勢がみられます。	政策提言が最優先されているイメージを抱かれないように、調査活動や広報活動に留まらず、本来の持続可能な まちづくりに向けた主体的な取組を期待します。
	研究会					住みよいまちづくりを基本コンセプトに、現在の住人、移住者、訪問者から幅広く意見を聴取し、ホームページ などで広く情報公開している点は、高く評価できます。	ホームページを中心に発信している有益な情報がより多くの人に届くよう、他団体や個人・企業などと連携し、 情報発信が強化されると、より研究会で実施されていることが広まるのではないでしょうか。(その中で、いい ざいとの協力は非常に良い取扱だと思います。
						評価基準に照らし、総合的にパランスがとれており、福津市の未来をよく考えていると評価できる。	福津市内はもちろん、本取組みを対外的(福津市外)にも積極的に広報するとさらに良い。
					つ子の父親は母親以上に子育での場において運むしていることが多い。それぞれの父親自身が感じている想いなどを共有し、母親とは異なる父親のようではの視点で行動することで、より良い社会の実現を目指している。	現在、子育てにおいて取り残されがちなパパたちが主体となっている点がとても良いと思いました。継続的な活動になるためのルール作りと、誰でも参加しやすい配慮(場所や案内など)が包括性の実現につながり、展開性 も含めて開作しています。	子育て中の父親以外の関係者を巻き込む仕組みがあると良いと思いました。また、2030年の夢をもう少し具体的 に描くことで、今何をすべきかの一歩が見えてくるかもしれません。
4	パパラブ ズー (発達時 がい子の分 親の会)	(	〇 平成30年			親として保護者的な視点だけでなく、将来的に自立を促せる仕組みに向けてビジョンを持っていること。	家族という立場だけでなく、地域や街という視点で「共感」を生み出し様々な人と一緒に活動できるようになる と良い。
				年4回程度		共生社会の実現に向けて父親という立場で積極的に参画する取組に大きな意義を感じます。	普及啓発に努めていただくとともに、さらなる多方面との連携を期待します。
						子育てにおける父親の参加・視点を活かした活動はユニークであり、良い取組だと思います。 当事者として、父 親にできる強みを発見し、取り組まれていることは素晴らしいと思います。	地域社会を中心に、社会福祉に関係する様々な機関と連携し、papa loves meの取組を、「背伸びせず無理せず」に展開して行かれることを期待しています。
						誰ひとり取り残さないといったSDGsの理念に資する取組みである。	市民共同や経済・社会・環境の相互関連性、相乗効果を意識するとさらに良い。
					くらしのサポートセンターサンクスは、地域の住民が自 分たちの力で立ち上げた、利用者一人一人が自分の生ち がいや役割を見つけ、活躍できる場です。幅広い年齢層	社会問題の一つになっている空き家の再利用を実践しており、貴重な活動だと感じました。今後さらに拡大が見 込める活動と期待しています。	持続的で多様な立場から活動を支える工夫があれば、企業などにもステークホルダーを広げるなど、ボランティアベースの活動をさらに発展させられるのではないかと思いました。
	くらしの					多世代交流が起きるようにしている点が素晴らしい。	交流は生まれているようだが、対話的に新たな人材の輩出やプロジェクトの創出が起きるようになると良いので は。
5	サポート センター		平成28年	週5回程度		幅広い年齢層にわたって、市民の居場所づくりに傾注する意欲ある姿勢がうかがえます。	-
	サンクス					寄り合い場、集いの広場、お困りごと支援を中心に地域住民による共助のモデルとして高く評価でき、今後の取 組の更なる発展が期待されます。	地域に欠かせない団体として、今後の管理・運営体制がより多くの地域住民の柔軟な形の参加により支えられる 仕組みが整うことを期待しています。
						評価基準に照らし、総合的にパランスがとれている。	経済、社会、環境の相互関連性や相乗効果をもっと意識するとさらに良い。
					老人会は、会員が集まりお得りする機会を作るが、これ だけでは会員外は入り辛い。地域に不可欠な老人会のは すだが、情性のままに観慮者化を招いて。老人会か、子 ども会や初めらとも交わり着さを買い、大人グループと の援助も得たい。	老人会の意識改革によってアクティブシニアを増やすという目標に期待がとても持てました。	具体的な取組内容や、2030年に向けた新しいチャレンジが伝わると良いと思いました。
						持続可能な地域づくりに向けて孤独者をほっとけないという志。	具体的な課題解決型の班ができたり、会の広報班ができたりと組織化できると、地区にとって本当に住みよい街となる。
6	宮司老人 会		○ 平成302	月2回程度		高齢者の活躍を視野に入れた意欲的な取組で、郷土史研究を通して地域理解に努められる姿は若い人たちへの刺激になります。	固定観念にこだわらないこの姿勢を具体的な場面でいろいろな方々にご披露いただきたいと思います。
						幅広い活動を年間通して活発に行っている点が非常に評価できます。	子ども会や幼児教育機関との連携により多世代との交流を積極的に進め、本団体が必要とされているニーズの新たな発掘など、新しい取組に展開されることを期待しています。
			Ш.			老人会としてのビジョンが明確であり、具体的な取組みが実施されている。	地域や子供や若年層を組織に巻き込む工夫をすると組織として活性化すると思う。
					福津市内の子ども一成人、二年配の方までを対象にスポーツ教室を実施している。 連動の母魔店手や経験の有 馬、陽市の有無に取わらず、参加を希望する人全員が参加できる数定づくともしている。スポーツは単一信なく総合的に取り組み、参加する方々にスポーツの楽しさを提供している。	スポーツを通した教育に力を入れており、様々な人がいきいきと生きられる社会の実現に向けた展開に期待しています。	ジェンダー平等や働きがいなど、選択されているSDGsに対する具体的な独自性が見えるとより良くなると思いました。
7	一般社団					市の教育施設とも連携し、地域住民に場を開けている点。	参加してもらうだけでなく、プロデュースやコーディネートできる人材を多様な世代でできるプログラムの開 発。
	法人 ルートプ		○ 平成29年	週8回程度		地域に根ざしたものであり、スポーツを通した意欲的な取組です。	スポーツの多方面にわたる効果を積極的に発信してください。
	ラス					年齢や経験、障がいの有無にかかわらず対象者を幅広く設定している点は高く評価できます。	スポーツを通したSDGs教育の機会創出の可能性について模索すると、より良い取組となると思います。
						ビジョンは明確であり、健康を促進する取組みである。	経済、社会、環境の相互関連性や相乗効果をもっと意識するとさらに良い。
8	上内電気		〇 平成232	車 随時	廃棄されようとしている照明器具を有効活用し光源を LED化するリモカ工法に力を入れており、「省予算・省 電力・省産廃・脱水銀・景観保全」をコンセプトに活動 しています。	審査外にも関わらず準備して応募したその志・熱意が最も評価できる。	委託業務がメインであると思われるので、そこに市民参加型の教育的な取り組みがあったり、会社としての経営 理念や戦略へのSDGs的判断ができるよう実装できると、企業プランディングにもなっていくと思います。
	株式会社					拮抗・対立しがちな環境・経済・社会の調和を長年めざし、リモカエ法によって持続可能なまちづくりに貢献しています。	貴社の取組は必ずしも他社へ適用することはできませんが、このコンセプトを広げていただきたいものです。
ш					L	1	

## 【教育部門】

教育部	部門)						
個人/		募種別 人 🖽 (4等	活動開始年	活動頻度	活動概要	高く評価できる点	現在の取組にブラスして欲しい点
					以上継続している第6学年総合的な学習の時間の取組。	10年以上継続されている活動であり、素晴らしい取組だと思いました。	身近な素材を変換するところに何か新しいアイデアが加わると良いかもしれません。
						長く続けていることや、お金に交換できていること。	市内外での多様なネットワークを構築し、交流や共同プロジェクトができるようになると良い。
福津市 上西組 学校	βrJ\	0	平成20年			地域の特性を生かして取組だけでなく世界的な視野での活動がみられます。	第6学年、また、総合的な学習だけでなく、SDGsは追求できるはずです。
子的	(					総合学習の取組として、自分達にできる取組から世界のこどもたちが抱える問題に貢献するという意識を持つことは高く評価できる。	SDGsの観点を取り入れる際に、児童の日々の生活と世界で起こっている事象の関係性について考える取組を行と、より身近にSDGsを感じられると思います。
						平成20年からの取組みであり、継続性が評価できる。	学校内のみの活動から地域を意識した活動につなげるとさらによい。
					長崎県立大・下関市立大におけるフェアトレードを中心 とする5063活動。 ・学生とのフェアトレード推進活動(学内外) ・出部講義などを通じた高校での活動 ・地域の関係者との連携	小さな活動から徐々にその活動範囲を広げ、これから先もまだまだ広がる可能性のある取組だと感じました。	地域との関わりについての実践があるとさらに良くなると感じました。
						他大学とコラボし、視野が広く持てている。	具体的に地域住民との共同プロジェクトなどの連携が起こると良いのでは。
長濱	⇔ c	)	平成24年	不定期		-	フェアトレードに限定され、発展を持たせるには相当のブラッシュアップが必要でしょう。福津市との連携実 を積んで応募すべきと考えます。
						フェアトレードに関して、高校での出前講座を設けるなど、積極的な取組が評価できる。	フェアトレードについては多くの企業・団体が取組んでいるので、連携先を増やして、地域の取組・教育プロ ラムに還元することを期待しています。
						個人ではあるが、学生を中心にSDGsの意識を醸成する活動を行っている。	佐世保等での活動を活かし、取組みの広がりとして、地域(福津市)への展開を実践されるとよい。
				年1回程度	本校では、令和元年9月26日に「福間中発!福津市未来 会議」を開催した。それは、SDGsに関連した6つの テャレンジテーマについて、3学年の生徒と地域の大人 が10年後の福光中の大来後を指く数値である。会議終了 後、会議の内容を提言書にまどの編浄市に提出した。	未来について大人と中学生が同じ場で議論する場がとても良いと思いました。学生が主体的に学びを進める様子 が良く伝わりました。	明日からでも提言をアクションにつなげてほしいと思いました。中学生にも会議に参加した大人と協力してSE に青献・来現できることがあると思ってもらえると良いですね。
						対話的に学習している点。	世代を超えた活動や、課題解決型になるとより良い。
福津市福間中	立	0	令和1年			SDGsの真骨頂ともいえる取組があらゆるところでみられ、ホールスクールアプローチが実現されています。	この学びが将来に向けてどう反映されるかある程度のストーリーを構築していただければと思います。
校	-4-		少和一年			福津市未来会議の取組は、地域住民と一緒に今後の未来を担う中学生が将来の地域像について話し合う非常に良い収組として高く評価できます。	福津市未来会議やその後の接言書のとりまとめ時に、専門性を持ったファシリテーターを入れることで、より 現性の高い接言に繋がることが期待できます。また、自分たちの提言のフォローアップを行い、より実効性の いものに繋げるためには何か必要なのかについて議論を経験することを悪めます。
						福津市立の中学校として、学校と中学生が一体となり福津の未来をSDGsの視点でよく考え提案している。	中学生の提言が実現できるよう、福津市として連携して取組んでほしい。また、中学校はこの取組を継続的に 施してほしい。
					取り残されない社会とはどういうことか、町探検を通し て理解を深める。講師は福津市に住む人や働いている	事前に子どもが自分で考え、そこから社会へ出て新たな視点の発見を促すという学びの流れが素晴らしいと感じました。	小学生からでも、地域でより実践の幅が広がると良いと思いました。
						各教科ごとにSDGsを繋げている視点が良い。	地域の中にある課題の発掘や仮説づくりなどに持っていけるとより良い。
福間小校		0	令和1年	週2回程度		SDGsに向かう教育で重要なキーワードがしっかりと含まれています。	教育課程の位置づけ、カリキュラムマネジメントを行う上で、学習内容のさらなる検討が求められます。
5年	生					SDGsの基本理念について、身の回りのコトから理解を深める非常に良い取組。	市内の他の小学校の取組と協調することで、校区内から市域内へと子ども達の意識が拡大・展開していけると り良いのではないでしょうか。
						子供たちによる町探検から福津の課題を見出し、高齢者福祉施設訪問など実践につなげている。	取組の広がりや他の学習への波及効果や継続性を意識した活動にするとさらによい。
					ぞれのアプローチで学びを展開します。地域の環境問題 を捉え、それを解決するための方途を各学級で追究し、 最後はお互いに意見を交流することで、「持続可能な社 会」を専門する「H the APT ます	学生が学校の外へ出て、地域の課題を学ぶ機会はとても貴重なものだと思います。ぜひ継続していただきたいと 思います。	対話を取り入れているとありましたが、生徒と教師の間の対話を促す仕掛けもあったのでしょうか?授業の科 超えた生徒の「やりたいこと」を実現するチャレンジがあるとさらに良くなると感じました。
福津市	- oto			月8回程度		生活と自然と身近なこととSDGsを繋げられており、実践型になっている。	国際的な視点を入れるために、海外との交流や、繋がりを感じられる学習内容も加わるとより良い。
津屋総	小小	0	令和1年			地域を舞台とした環境教育を中心としながらも他の分野にも広げ実践している価値のある取組です。	持続可能性を追求する子どもたちの姿を多方面から看取できるようなさらなる取組を期待します。
						子ども達の主体性に主眼を置いた取組として評価できる。	地域住民や専門家等との交流を通して、子ども達だけでは気づかない観点などを入れ込めるとより良い取組に ると思います。
						津屋崎の地域特性(海に面している)に着目し、課題認識、調査等を行っている。	津屋崎小学校5年生だけの取組みではなく、他の学年にも活動の環を広げるとよい。
					しい価値を考えながら生物多様性のモニタリング・保全	様々なステークホルダーの協業によるプロジェクトで長年の継続されており、素晴らしい取組だと感じました。 また、竹林樹曽は日本の多くの過疎地域が抱える課題です。これに対する取組のノウハウは全国的な展開も期待 できます。	実践につながる革新的なアイデアが盛り込まれるとさらに良くなると感じました。
ふくご	大					研究から活動へと繋がっていて、市民も参加していること。	地域住民参加のワークショップから、市の施策への反映や、市民による提案などが生まれるよう継続性がある 良い。
森づく プロシ	ジェ	0	平成26年	月1回程度		日本の地域特性と自然環境の固有性を考慮した学術的にも評価できる取組です。	教育部門よりも一般部門でのエントリーが適切であったような気がします。
クト						行政、教育機関、地域住民と幅広いステークホルダーとの連携を基に進めている活動として評価できる。	都市における自然資源の循環について、他地域の取組と協調・比較することで、より良い取組につながるかも れません。
						平成26年からの取組みであるが、SDGsの取組みに資するプロジェクトを運営している。	本プロジェクトでの活動経験等を福津市でPRし、プロジェクトの環を広げるとさらによい。
					福間海岸や西郷川の自然環境を調査することを通して、 福間の町の自然環境に目を向け、そこに任む生き物や環 現を大切にしようとする態度を養う。	環境保全をテーマに子どもたちが学外に出て体験的に学ぶ機会は非常に貴重なものだと思いました。	ゴミ問題をテーマにさらに多角的な視点から問題を俯瞰的に考える仕立てがあると良いと思いました。
				月4回程度		学校外に出て、直接触れる機会をつくっている点。	ローカルなことが、世界規模へのグローバルに繋がっている視点を盛り込めるとより良い。
福津市福間小		0	令和1年			=	子どもの主体的に取り組む姿が明確に看取できません。
4年	±		- m. C			身近な自然環境を顕材にした環境教育の取組は、環境問題を自分ごととして捉える良い機会だと思います。対象 範囲を広げて、身近で起こっている事象と国際的な問題の繋がりに関する視点を掘り下げることで、より良い取 り組みになることを開待しています。	身近な自然環境を起点に社会面や経済面の関係性について、子どもたちの考えを発展させるとより良いと思い す。
1						福間市の自然をテーマに海や川に目を向けている。	環境や生物を大切にしようという態度の養成から、具体的な実践活動につながるよう体系化するとよい。